学校番号	1204

令和３年度　商業科

教科	商業	科目	電子商取引	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	商業３３２「電子商取引」　（東京法令出版）						
副教材等	令和３年度版全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集３級　（実教出版） 令和３年度版全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集２級　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・電子商取引の実施に必要な「コンテンツの制作」「ウェブページの制作」「ウェブページの公開」「法律の遵守や代金決済方法」について学びます。
・電子商取引に対する知識や技術を身に付けるために、課題意識を持って積極的に授業に参加しましょう。
・現在の日本における商取引の電子化は増加傾向にあり、電子商取引市場に関心を持つことが大切です。
・タッチタイピングを習得し、能率的にウェブページの制作ができるようにしましょう。

2　学習の到達目標

情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに、それを行うための知識と技術を習得します。また、利用者の立場に立ったシステムを構築するため、コンピュータを効果的に活用する能力と態度が育まれることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して電子商取引システムを作成できる。	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。
評価方法	実習の観察	定期考査 課題提出	定期考査 課題提出 実習の観察	定期考査 課題提出 実習の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報通信技術の進歩とビジネス	・ビジネスの変化 ・情報通信ネットワークの活用と課題	○	○	○	○	a:情報通信ネットワークの活用によるビジネス形態の変化に関心を持ち、身近な具体例でそれらの特徴を理解しようとしている。 b:メールによる広告とウェブページによる広告の特徴や注意点を理解し、その内容を具体的に表現することができる。 c:Word を利用して、ブラインドタッチや表の挿入、図形の編集などができる。 d:通信技術の進歩に伴い、広告・広報活動の内容やしくみが変化してきていることについて説明することができる。	実習の観察
1	コンテンツの制作	・コンテンツのディジタル化とファイル形式 ・コンテンツの準備 ・情報の統合	○	○	○	○	a:顧客の立場に立って情報発信することの重要性に気づき、そのための知識・技術を身につけようとする意欲を持った。 b:各ソフトウェアの持つ表現技法を適切に活用し、目的に応じて効果的に表現するための創意工夫を行った。 c:ソフトウェアを利用して図形、静止画、動画、音声などの補正、画像効果、トリミングなどの編集ができる。 d:図形やイラストなどの効果的な利用方法について、説明することができる。	実習の観察 定期考査 課題提出

2	ウェブデザインと広告・広報	・ウェブページ制作の手順 ・デザインの基礎 ・ウェブページ制作の基礎 ・ウェブページにおけるプログラミング ・ウェブページにおけるアンケート調査 ・ウェブページにおけるデータベースとの連携	○ ○		 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: ウェブページの制作に関心を持ち、ソフトウェアの特色を生かした実習に積極的に取り組み、知識・技術を身につけようとした。 b:ウェブデザインにおいて、顧客の立場に立ったコンセプトを自ら考え、それをウェブページに表現をしようと工夫することができる。 c:画像やHTMLタグ、ハイパーリンク、スタイルシート(CSS)を利用した基礎的なウェブページを作成することができる。 d:ウェブページを制作し、公開するまでの基本的な手順を理解している。	実習の観察 課題提出
2	ウェブページの公開	・ネットワーク機器の種類と機能 ・ハードウェアとソフトウェアの導入 ・ウェブページの公開	 ○		 ○ ○	○ ○	a:公開するために必要な機器やソフトウェアに関心を持つとともに、これらを利用した実習に意欲的に取り組んだ。 b:コンピュータの構成や特徴、ハードウェアの仕組みなどについて思考を深め、目的に応じた選択を行うことができる。 c:ハードウェア、ソフトウェアの種類とその仕組みから、目的に応じて組み合わせ、適切にネットワークを構築できる。 d:ソフトウェアに関する知識・技術を身につけ、その役割や機能について説明できる。	実習の観察 定期考査 課題提出

3	電子商取引とビジネス	・電子商取引のしくみ ・企業間取引と企業・消費者間取引 ・電子決済のしくみと方法 ・電子商取引システムの作成	○ ○ ○		○	○	a:電子商取引システムの構築に関心を持ち、その手順や作成の方法を積極的に学ぼうとした。 b:システムの特徴を理解し、適切なソフトウェアを判断することができる。 c:目的に応じた電子商取引システムを構築できる。 d:電子商取引の意義や市場規模、実店舗との違いなどについて説明できる。	実習の観察 定期考査 課題提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。